

がんにおける治療と仕事の 両立支援を深掘りする2017 フォーラム

2017年6月16日(金) 13:00～16:30
受付開始 12:30

会場 全電通労働会館 (2F 全電通ホール)

参加費

本会会員 無料
非会員 3,000円

事前申込が必要です。
お申込は裏面をご覧ください。

※定員 250名になり次第締め
切らせて頂きますので、お早め
にお申込み下さい。

現在は、全労働者の7人に1人ががんにかかっている時代であり、職域において、がんは決して稀な疾患ではなくなっている。しかし、治療方法も進み、60%は治療する時代であり、放射線治療の進歩や低侵襲手術の普及、分子標的薬の登場で治療しながら仕事を両立することも今まで以上に可能となっている。

仕事と治療の両立支援は、三次予防に該当するが、がんという病気に対する十分な理解がなければ社員自身が「がんにかかった」という情報を会社に届けることは容易ではない。

本シンポジウムでは職域でのがん教育の重要性を再認識することに加え、実際の現場での課題について、がん治療の最前線に立つ臨床医の立場と産業保健スタッフの立場から議論したいと思う。

プログラム

総司会/理事 浜口 伝博

開会のご挨拶 (13:00～)

会長/大久保 利晃 (公財 放射線影響研究所 前理事長、産業医科大学 元学長)

土屋健三郎記念 産業医学推進賞授与式・受賞者 挨拶 (13:10～)

選考委員長/清水英佑 (中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 所長、
東京慈恵会医科大学 名誉教授、日本産業衛生学会 元理事長)

シンポジウム (13:30～16:10)

「がんにおける治療と仕事の 両立支援を深掘りする」

座長/立道 昌幸 (東海大学 医学部 基盤診療学系 衛生学公衆衛生学 教授)

基調講演 中川 恵一 氏

(東京大学 医学部附属病院 放射線科 准教授)

講演 1 赤羽 和久 氏

(名古屋第二赤十字病院 乳腺外科)

講演 2 岡田 睦美 氏

(富士通株式会社 健康推進本部 川崎健康推進センター マネージャー (保健師))

休憩

ディスカッション (シンポジスト および参加者)

閉会のご挨拶 (16:10～16:15)

本フォーラムの受講は
中災防THP指導者レベルアップ研修
の単位認定(1単位)を申請中です



会場 全電通労働会館 2F 全電通ホール
東京都千代田区神田駿河台3-6

- 交通
- 千代田線 新御茶ノ水駅 (B3 出口) 徒歩 3分
 - 都営新宿線 小川町駅 (A7 出口) 徒歩 4分
 - 丸の内線 淡路町駅 (A5 出口) 徒歩 4分
 - J R 御茶ノ水駅 (聖橋口出口) 徒歩 6分

後援

中央労働災害防止協会 (一社)日本経済団体連合会 日本労働組合総連合会 (一財)地方公務員安全衛生推進協会
(公社)東京都栄養士会 (公社)日本産業衛生学会 (公社)全国労働衛生団体連合会 (独)労働者健康安全機構 (順不同)
(協賛)バイオコミュニケーションズ株式会社
上記の後援は 2016 年の実績です。2017 年度は現在調整中です。

お問合せ

NPO 法人 健康開発科学研究会 事務局 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-15-10 YSビル バイオコミュニケーションズ(株)内
TEL.045-470-8005(フォーラム係) FAX.045-470-8200 E-mail.health-development@ii-bio.com
URL.http://www.ii-bio.com/about-us/kenkyukai/kenkyukai.html

